

世界とつながる自分たちの生活を考えよう

香川県立観音寺中央高等学校 担当教科／英語

石原 康代

- 実践教科:①総合的な学習の時間 ②英語 ③その他 ●時間数:計3時間(各1時間)
- 対象学年:①総合:高校2年生 ②英語:高校2年生 ③その他:1年～3年(国際文化系列の特別授業)
- 対象人数:①200名 ②34名 ③27名 計261名

授業実践のねらい

- モンゴルの様子を伝えることで、開発途上国に関心を持たせる。
- 世界で取り組み解決すべき課題に気づかせ、自分自身がなすべきことを考えさせる。
- 異文化を理解させるとともに、国際協力への関心を喚起する。

授業実践の構成

時間	テーマ・ねらい	主な学習活動	使用教材等
第1時	モンゴルを知ろう モンゴルの生活を知り、異文化への関心を持たせるとともに理解を深めさせる (総合:2年生200名)	・モンゴルYES/NO クイズを考える ・解答しながらモンゴルについて知る(写真、体験) ・感想をまとめる	・ワークシート ・パワーポイント ・デール ・スーターツアイ ・ゲル模型 ・モンゴル通貨 ・CD
第2時	地球の水問題を考えよう 日常の水の使用法を振り返り、世界の水問題について考えさせる (英語II:2年生34名)	・日本人の水の使い方を知る ・Virtual Water の量を考える ・モンゴルの水事情を知る ・世界の水問題解決のためにできることを考える	・ワークシート ・パワーポイント ・紙テープ ・Jica's World No.47
第3時	国際協力について考えよう ごみ処理問題を通して国際協力の在り方を考える (国際文化系列1～3年生 27名)	・モンゴルでのごみ処理方法を知る ・日本のゴミ問題と比較する ・今後の国際協力の在り方について考える	・ワークシート ・パワーポイント

授業の詳細

第1時 **モンゴルを知ろう(総合的な学習の時間:2年次生200名)**

生徒の興味・関心を増すために、授業開始前からモンゴル音楽のCDを流し、授業開始時にはデール(民族衣装)を着て紹介を受け、モンゴル語で挨拶をして導入とした。

和田 加
報告書 ①

大西 結加
報告書 ②

杉田 亮介
報告書 ③

曾根 健介
報告書 ④

池田 やよい
報告書 ⑤

今村 加代子
報告書 ⑥

山崎 功子
報告書 ⑦

石原 康代
報告書 ⑧

最初にワークシートの「モンゴルYES/NOクイズ」に挑戦させ、各自が持っているモンゴルに対するイメージを記入させてから、パワーポイントを活用しながらモンゴルの紹介をした。ゲル模型や通貨等を見せたり、スーテーツァイを試飲させたりした。日本とモンゴル(主としてゲル)における生活の違いを知らせ、最後に感想をまとめさせた。



サインバイノー!

①デールで登場



②YES/NO クイズに挑戦



③ウランバートル市内の様子



④スーテーツァイ試飲



⑤まとめ

生徒の反応

感想より

- 家畜の多さに驚いた。自分はあまり手伝いをしないので、子どもが家の仕事をしっかりしていると聞いてすごいと思った。
- ゲルには水道、風呂、シャワー、トイレが無いと聞き、当たり前のように日常使用できていることのアリがたさを感じた。
- モンゴルには草原と砂漠しかないと思っていたが、ウランバートルは都会でビルが多く、渋滞するほど車が走っていると知り驚いた。一度、行ってみたい。
- モンゴル料理はおいしそうだった。ツオイバンとボーズを食べてみたい。

【所感】

50分間はとても短く、広大なモンゴルを紹介するには時間が足りなかった。それでも生徒は関心を持って聞き、スーテーツァイの味に驚き、日本との違いを知り興味を持ったようだ。これまで「日本で活躍している力士の祖国」というイメージしかなかった生徒たちに異なる面も紹介できたのではないと思う。モンゴルの物を手に取ったり試したりすることで、興味が増し「行ってみたい」という感想を書いていた生徒も多かった。

第2時 地球の水問題を考えよう(英語Ⅱ:2年次生34名)

生徒たちは1年次に英語Ⅰの授業でVirtual Water について学習し、2年次の英語Ⅱではグリーンベルト運動について学習している。本時はその発展として世界の緊急課題である安全な水へのアクセスについて考えさせた。

地球上で利用可能な淡水がどれほど貴重であるか、日本人はその水をどのように使っているのかを示した後で、身近な食品を生産するために使われている水の量をグループで想像させ、紙テープの長さで表現させた。

その後、草原のゲルで水を使っている様子やウランバートルのゲル地区での水汲みの様子、モンゴルの学校や道路の様子を知らせた。



難しい!

①グループで相談



悩みなあ〜

②切って眺めながら意見交換



③他のグループの考えと比較



④学習のまとめと感想

最後に、地球上での安全な水へのアクセス率を2002年と2010年で比較させ、改善されているもののまだ十分ではないことを知らせた上で、私たちにできることを考えさせた。生徒の発表後、県内の企業が浄化剤を送ることで飲料水を生み出している活動(Jica's World No.47より)やWFPへの寄付ができる食品を紹介し、日本にいる高校生でも日常の活動を通して世界の課題解決に協力することができることを示した。

生徒の反応

感想より

- 生活に利用できる水の少なさに驚いた。日本人は水を使い過ぎだと思った。
- 自分では節水しているつもりだったけれど、モンゴルの生活を考えたら、まだ無駄使いしていると思った。日本は水が豊かで幸せだと思うが、これからは他の国のことも考えていきたい。
- 1年の時に仮想水の話を聞いた時にはよく分からなかったが、テープを貼って見てみると、そんなにたくさん水が要るのかということを実感した。
- これから物を買うときは、少しでも世界を助けられる商品を買ったり、友達に教えたりしたいと思う。自分の生活を少し変えることで、多くの命を救えたらいいと思う。

【所感】

英語の教材として世界の水問題について読むだけでは実感できない内容も、本時のような活動を通して具体的にイメージできた生徒が多かった。Virtual Water の量を考え、紙テープの長さで表現する活動は難しかったが、グループで協力して楽しみながら取り組んでいた。自分たちにできることを発表させた時、教科書で学習した内容を踏まえて考えられていたのもよかった。

第3時 国際協力について考えよう(国際文化系列特別授業:1年~3年27名)

最初に「開発途上国」や「国際協力」に対するイメージや関心をワークシートに自由に記入させ、数名の考えを発表させてから授業を始めた。モンゴルの報告を聞いたことのない1年生と3年生のために簡単にモンゴルの紹介をした後で、フォトランゲージを用いてモンゴルのゴミ処理の様子を知らせ、「ごみ処理問題」を中心に国際協力の在り方について考えさせた。

生徒の反応

感想より

- モンゴルは緑が豊かでのどかな国だと思っていたので、ごみの多さに衝撃を受けた。
- 確かにモンゴルは広いので、ごみを埋めていてもいいのかもしれないけれど、きれいな自然を壊すのはもったいないと感じた。もっと改善できるのではないかと思った。
- 国際協力に関心があり、参加してみたいと思っているが、そのためには、まず相手国のことをよく知り、相手の立場に立って何が必要かを考えなければならないということが分かった。
- 「国際協力」というと「身近ではない」「大変そう」と思っていたが、思ったより身近なものだと分かったし、自分ができることで少しでも協力していけたらいいなと思った。

【所感】

限られた時間で大きなテーマについて考えさせようとしたため、欲張りすぎた内容となってしまった。集まった生徒の半数以上がこれまでにモンゴルについて学習していなかったのが最初に簡単な紹介をしたが、やはり時間不足だった。グループの話し合いなどを通して、身近な活動で「国際協力」につながっているものを考えさせ、自分たちが取り組める具体的な行動を考えさせたかったが難しかったようだ。機会があれば、違った形でもう一度考えさせたいと思う。

授業実践を終えて(成果と課題)

生徒たちはモンゴルの様子や問題を知り、興味を持って考えられていた。異文化の紹介に終わるのではなく、生徒たちの生活と結びつけて違いを感じ理解を深めてほしいと思っていたねらいは、ほぼ達成できたように感じる。しかし、年間指導計画の中に特別な授業を加えることは非常に難しく、3時間の実践授業を同じクラスですることができなかったことは残念だった。

今後は国際理解教育が特別な講義や授業で終わるのではなく、通常の教科指導と並行して行えるようにしたいと思うとともに、3年間で生徒に考えさせたいことなどを整理し、「国際理解教育」の年間指導計画を立てて取り組む必要性を強く感じた。来年度、3年次生を対象に総合的な学習の時間とLHRの時間を使ってこの学習の続きを指導しようと考えている。また、年度初めから計画的に準備をし、様々な教科の学習指導と連携して指導できるようにしたいとも考えている。生徒が興味を持って取り組める活動について、さらに研修を続け、実践していきたいと思っている。

資料

資料1 パワーポイント資料抜粋

1-1 **モンゴルを知ろう**

1-3 **山羊・羊・馬・牛・ラクダ (2011年)**

山羊	1,560,000頭
羊	1,560,000頭
馬	200,000頭
牛	200,000頭
ラクダ	20,000頭

・人:家畜 = 1:13

1-2 **モンゴルの国情**

・モンゴルの国情 136万5500人 (日本の4倍)
 人口 2,154,585人
 首都 ウランバートル (1,159,899人)
 平均気温 15.0℃以上
 平均気温 夏15℃(7月) 冬-15℃(1月)
 通貨単位 TGL (トグタル)

1-4 **ウランバートル中央郵便局の中**

・郵便は配達しない

1-5 **ゲルの仕組み**

1-7 **モンゴル料理・肉料理と乳製品**

2-1 **地球の水問題を考えよう**

1年次・・・Virtual Water
 2年次・・・The Green Belt Movement を道して
 2012. 11. 30(金)

2-3 **日本人の水の使い方**

日本では	農業用水	工業用水	生活用水
	60%	20%	20%
		(1人が1日) 350L	

・世界では? 69% : 21% : 10%
 (1人が1日) 190L

2-5 **①What's this?**

2-7 **安全な水へのアクセス率(2002年)**

1-6 **草原での移動手段**

トラック オートバイ 馬

1-8 **生活に利用できる水は?**

2-2 **生活に利用できる水は?**

2-4 **Virtual Water 仮想水**

・the water that is used to produce a country's imports

・どれだけの水が必要か考えてみよう

鶏、おまんこ 1頭	2.4t
①. 鶏ペン 1枚	2.4t
②. 米 100g	6.6t
③. 小麦 100g	6.6t
④. 豚肉 100g	18.1t
⑤. 牛肉 100g	18.1t

18.1t, 480リットル

2-6 **③What are they doing?**

2-8 **安全な水へのアクセス率(2010年)**

和田 加 報告書①
 大西 結加 報告書②
 杉田 亮介 報告書③
 曾根 健介 報告書④
 池田 やよい 報告書⑤
 今村 加代子 報告書⑥
 山崎 功子 報告書⑦
 石原 康代 報告書⑧

2-9 「水」が引き起こす問題

- 不衛生な水 ... 肺炎 (水の原因で死亡する5歳未満児 年間150万人)
- Hunger and Poverty (飢餓と貧困の悪循環)
- Conflict (紛争) エジプト: ナイル川の水配分 (流域10ヵ国間) 中東紛争 (イラク対イスラエル)



2-10 私たちにできることは何だろうか？

- 水を大切に使う
- 無償労働(強制労働)ストップに努める
- 他の人に現状を知らせる
- 技術や知識を身につける

JICA's World と JICA 国際協力機構



3-1 モンゴルの暮らし

この問題を巡って「国際協力」を学ぼう

国際協力機構 JICA



3-2 ウランバートル市内のゴミ収集



3-3 これは何でしょう5



3-4 ゴミ処分場の人の願い

- みんなが分別をするようになってほしい



資料2 第1時ワークシート抜粋

2012.11.20

◇YES-NOクイズに挑戦！

モンゴルを知ろう

1. モンゴルは日本の3倍の広さだ	YES / NO	*モンゴルの面積 () 平方キロメートル
2. モンゴルでは人間と家畜がほぼ同数住んでいる	YES / NO	*人口 () 人 2011年
3. モンゴル人の名前も「姓一名」の順番に言う	YES / NO	*首都 () 市の人口 () 人
4. モンゴルは広いので郵便配達員が日本より多い	YES / NO	*平均海拔 () メートル
5. モンゴルでもいろいろな外国製品が買える	YES / NO	*平均気温 夏 () 冬 ()
6. 遊牧民は季節ごとに次の場所を探して移動する	YES / NO	*主要な都市
7. ガル(移動式住居)でテレビを見ることが出来る	YES / NO	*遊牧生活とは？
8. モンゴルのミルクティーは塩味だ	YES / NO	*ガルにある物
9. 草原では子どもは自転車に乗っている	YES / NO	*ガルに無い物
10. モンゴルの子どもはよく働く	YES / NO	*モンゴル料理

参考資料

【書籍】

- 『地球の歩き方モンゴル 2011～2012版』ダイヤモンド社 2011年
- 『World Walker モンゴル(2012年夏号)』Adline LLC 2012年
- 『Jica's World No.47(2012年8月)』独立行政法人 国際協力機構 2012年
- 『「ゴミ」を知れば経済がわかる』瀬戸義章 PHP 研究所 2012年

【インターネット】

- Water Works 水の働き <http://www.waterworks.co.jp/vol11/page1.html>